

快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を『森と街』の直接連携で実現する

フォーラム **木で暮らす** —木で稼ぎ、木で生きる—

私たちは4ヶ年の社会実践プロジェクトにおいて、森林から家づくりまでの一気通貫を通じた現在の社会課題 -CO2削減、森林と林業の再生、長期活用可能な木造住宅- の解決を図ることを目的に、実践的研究を行っています。

今回のラウンドテーブル型フォーラムでは、その入口である「森林の視点」から課題解決の具体的な方向性を見ていきます。そして、これからの日本社会で山側と都市側がともに「木で暮らす」ためには何が必要なのかということをご来場の皆様を含む様々なステークホルダーと共に考え、提案していきます。日本社会を根本から立て直さなければと考える、専門家、事業者、NPO/NGO、市民など、幅広いご立場の皆様の参加をお待ちしております。

日時： 2010年12月12日(日) 13:30~17:30

場所： 早稲田大学 西早稲田キャンパス 57-201教室 (新宿区大久保3-4-1)

主催： 埼玉大学、名古屋大学、早稲田大学、天然住宅、NPOまちぽっと

申込： NPOまちぽっと 定員300名、無料 (事前申込制、先着順)

プログラム

●第1部 「木で暮らす」ために、森でできること

田中 優 (未来バンク事業組合理事長)

●第2部 「山の自力更生：栗駒山の試み」

* テーマ1 生産性向上で問題を解決する

- 1) 林業の自立に向けて ; 大西裕二 (宮城県林業技術総合センター)
- 2) 林業の自立に向けて ; 平野直樹 (東北職業能力開発大学校)
- 3) 自立を支援する金融 ; 田中 優 (前出)

* テーマ2 高付加価値化で問題を解決する

- 1) 木材の高付加価値化と事業 ; 相根昭典 (一般社団 天然住宅)
- 2) 乾燥等における木材の化学的な変化 ; 福島和彦 (名古屋大学大学院教授)
- 3) オーガニック住宅の認証 ; 小川直也 (アマタ(株)環境認証研究所研究員)

●第3部：総合討論 「木で暮らす —新たな可能性を切り開く—」

登壇： 外岡豊 (埼玉大学経済学部教授)、田中優 (前出)、相根昭典 (前出)
山崎真理子 (名古屋大学大学院准教授)、中島裕輔 (工学院大学工学部准教授)
高口洋人 (早稲田大学理工学術院准教授)
堀尾正靱 (地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会研究開発プログラム領域総括)
岡田久典 (NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク副理事長)
山形与志樹 (国立環境研究所地球環境研究センター主席研究員)



● お申込み Fax: 03-3200-9250 メール: morimachi1@gmail.com

お名前: _____

ご所属: _____

アドレス: _____

電話番号: _____